

大梅

DAIBAI



大梅拈華山 圓通 正法寺

Vol.7

Free
Paper

- 正法寺発展興隆奉賛会協賛者御芳名 -

(平成30年12月1日～令和元年5月31日まで受付分)

東京 第五番	埼玉 第三二番	栃木 第五七番	宮城 第四五八番	宮城 第三六〇番	宮城 第三〇三番	宮城 第三二一番	宮城 第二九六番	宮城 第二六六番	宮城 第二七六番	宮城 第四番	岩手 第二四八番	岩手 第二六〇番	岩手 第四五番	岩手 第三九番	岩手 第三六番	岩手 第三〇四番	岩手 第九一番	岩手 第七四番	岩手 第二一番	秋田 第六二番	青森 第三二〇番	青森 第二四番	青森 第七番
大安寺	東光寺	満福寺	洞泉院	林昌院	長谷寺	照源寺	龍洞院	長線寺	泉永寺	圓福寺	吉祥寺	龍澤寺	見性寺	寶壽寺	松山寺	廣徳寺	泉徳寺	瑞興寺	天昌寺	梅林寺	円流寺	瑞泉寺	海蔵寺

平成30年度 正法寺発展興隆奉賛会協賛金決算書

1. 収入の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
1. 会費	2,000,000	1,800,000	180ヵ寺(名)
2. 協賛金	600,000	3,610,000	10口以上 6ヵ寺
3. 繰越金	624,008	624,008	
4. 雑収入	1,000	8,002	利息2円、会費未満金
合計	3,225,008	① 6,042,010	

2. 支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
1. 常什助成金	2,000,000	3,000,000	30年度助成金
2. 事務費	20,000	42,394	振込手数料、印字サービス他
3. 営繕費	130,000	0	空調メンテナンス
4. 予備費	1,075,008	1,474,416	エアコン修理、協賛者回信品
合計	3,225,008	② 4,516,810	

3. 差引残額 ① - ② = 1,525,200円(次年度繰越)

令和元年度 正法寺発展興隆奉賛会協賛金予算書

1. 収入の部

科目	予算額(円)	前年度予算額(円)	備考
1. 会費	1,500,000	2,000,000	150ヵ寺(名)
2. 協賛金	2,000,000	600,000	
3. 繰越金	1,525,200	624,008	
4. 雑収入	1,000	1,000	
合計	5,026,200	3,225,008	

2. 支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
1. 常什助成金	3,000,000	2,000,000	
2. 事務費	50,000	20,000	
3. 営繕費	1,000,000	130,000	
4. 予備費	976,200	1,075,008	
合計	5,026,200	3,225,008	

- 事務局からのお願い -

総会で承認された平成30年度決算並びに令和元年度予算を上記に掲載しました。

会費・協賛金を賜りました御寺院様への報告とさせていただきます。

令和元年度の会費と協賛金の納入につきましては添付の郵便振替用紙に合計金額と住所、寺院番号、寺院名(氏名)、電話番号をご記入の上、納入下さいますようお願いいたします。

郵便振替払込領収書を本会の領収書に変えさせていただきますことをご了承下さい。ご不明の点につきましては事務局へお問い合わせ下さい。

Free Paper

正法寺だより『大梅』第7号

令和元年 7月1日 発行

発行 / 大梅拈華山 圓通 正法寺

〒023-0101 岩手県奥州市水沢黒石町字正法寺129

URL / shoboji.net

問合せ / 0197-26-4041

Printed in Japan

本誌掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。

表紙 精進料理二の膳の鉄器は及源鋳造様からのご提供です。

【正法寺末寺護持会事務局より】
正法寺末寺護持会総会の報告
五月二十七日正法寺庫院瑞鳳閣に委任状を含み六十三ヵ寺の住職が集まり末寺総会が開催されました。平成三十年度決算、令和元年度予算が承認された後、役員改選に移り、新会長に岩手二五八番願成寺住職芳川春彦老師、副会長に宮城四〇八番洪龍寺住職永井功雲老師(再任)、岩手一六三番大祥寺住職木村彰良老師(再任)、宮城三九八番寶鏡寺住職菊地秀道老師(新任)が選出されました。



開山忌正當献飯諷經にて導師を勤められる山主老師

正法寺末寺護持会会長 拝命就任の御挨拶

小納儀

今般の末寺総会で昨年急逝された龍澤寺、塩竈博隆老師の後任として末寺護持会会長を仰せつかりました。

思えば平成二十五年に新山主として盛田老師という大変素晴らしいお師家様を塩竈老師始め当時の執行部の皆様が新山主として懇請し、その御尽力のおかげで正法寺山主に就任戴き、正法寺の新時代がこれで始つたと、末寺一同大変歡喜してお迎えした次第でした。その後、僧堂の再開から始まる晋山行持、諸堂の整備など、まだ緒に就いたばかりというこの時期の計報に羅針盤を失った船のような心地でありました。

今般、図らずも小納が多く先の達御老師がいる

中、末寺護持会会長を拝命する事となり、非学非才のこの身には余り有る大役に、身を容るるに地なしの思いであります。しかしながら、これも御本寺様と當山との数百年に亘る御法縁に報いる報恩行と思い、お受けする事になった次第で御座います。

前会長と比べますと、全てに亘りいたらぬこの身ですが、二末寺として御本寺様の興隆と発展を願う気持ちでは他の末寺の皆様には引けを取らない強い気持ちを持っております。

今後、御本寺様の僧堂としての役割、布教化の役割は、ますます重要なものとなつて参ると思います。その活動を下支えして、揺るぎない基盤を作っていく事が私たち末寺の責務であろうと存じます。どうぞ皆様と共に御本寺様を御護りして参る所存ですので、何卒末寺の皆様のご叱正、御教授を賜りますようお願い申し上げます。会長職拝命就任の御挨拶とさせていただきます。

岩手県二関市 願成寺住職 芳川春彦 九拜

御挨拶

山主 盛田正孝

御尊臺各位におかれましては新たなお心にて令和元年をお迎えの事と存じます。

日頃陰に陽にと正法寺の為にお心を寄せて頂き、誠に有難く心から御礼申し上げます。

当節、世俗化が進み、僧に対して「身は娑婆にありても娑婆になきもの」が求められている事は充分承知致しておりますが、言うに易く行うに難しきものであります。せめて僧堂にいる時は非俗として佛祖の行履を慕い、この身をもって如是の法を修するのみであります。時勢に流される事なく、東北の山中にありて道根を養う事に専念する僧堂でありたいと自らに誓うものです。

皆様の御法愛にこの事をもって報恩行とさせていただきます。今後の御指導を伏してお願ひ申し上げます。



正法寺末寺護持会会長
岩手県158番 願成寺住職 芳川春彦 老師



本則行茶で提唱する山主老師

山口太鼓

「明日への祈り」

感謝の特別公演

平成三十一年四月十四日（日）、宮古市の山口太鼓の会の皆様による「山口太鼓「明日への祈り」感謝の特別公演」が當山法堂にて行われました。

当日は株式会社岩手県北観光主催のバスツアーも企画され、境内地全体に響き渡る迫力ある太鼓の演奏を皆様楽しんでました。

公演の後、バスツアーに参加された方々は精進料理を召し上がって頂き、山内の拝観を致しました。



花まつり（釋尊降誕會）

令和元年五月八日（水）、十時より釋尊降誕會が執り行われました。當山の花まつりは毎年、一カ月遅れの五月八日に行われております。

当日は山主老師が公務で愛媛県の瑞應寺専門僧堂へ他出されており、後堂の渡邊了英老師が御代理にて導師をお勤めになりました。午後から山内で会議が入っていた事もあり、末寺護持会事務局の御寺院様等にも御随喜頂き、参列された檀信徒の方々と共に誕生佛に甘茶を掛け、お釋迦様の誕生をお祝い致しました。



守時タツミ

景色の見える音楽会 in 奥州

令和元年五月十二日（日）、音楽家※守時タツミさんの音楽会が當山法堂にて開催されました。この音楽会は、奥州市の地域おこし協力隊プロジェクト「Walk on Soil」の方が企画・開催されました。

音楽会当日は、百四十名を超える方々が来山し守時さんのピアノ演奏を楽しみました。また、奥州市の風景を作品とした『奥州「里山」さしき童子』も披露され、来山された方々を魅了しました。

※守時タツミさんは全国各地を巡り、自然の中で出合った音に、楽器を重ねて作曲をする音楽家。これまで、全国五十ヶ所以上の風景を作品とし、NHKの「ラジオ深夜便」のレギュラーコーナーに出演し、楽曲を紹介しています。

今回、奥州市でのコンサート開催が決まったのは、Walk on Soilメンバーの小川ちひろと守時さんが、かねてから交流があったことがきっかけ。一度、奥州市に訪れた守時さんが特に印象的だったという、正法寺での開催が決定しました。

【参照】

<http://walkonsoil.jp/project/archives/220>



令和元年度

曹洞宗師家会総会

五月二十三日・二十四日、曹洞宗師家会総会が行われ、全国の僧堂長をはじめ師家会会員の方々が當山に参集致しました。

初日は當山山主老師導師のもと開講式が行われ、引き続き師家会会長である兵庫県八王寺東堂志保見道元老師より御挨拶を頂きました。

二日目は岩手県内地域の宗教施設等の現地研修が行われ、無事に二日間の日程を終えました。





第五十七世 称名忌 遠夜献湯諷經
焼香師 岩手県花林院住職 千枝宗雄老師



御開山遠夜献湯諷經
焼香師 岩手県長壽寺住職 秋元春由老師



御開山正當献飯諷經
導師 山主老師



御礼の挨拶を述べる埼玉県廣見寺住職 町田廣文老師



諸善御寺院による読経中の八本行道



監院老師御挨拶

當山開祖 無底良韶禪師 開山忌
併修五十七世 守徳大謙大和尚 称名忌

六月十四日、毎年恒例の當山開祖 無底良韶禪師 開山忌が修行されました。本年は當山五十七世 守徳大謙大和尚の十三回忌の年という事もあり、大本山總持寺監院 乙川暎元老師を先住忌焼香師に拜請申し上げ、開山忌に併せて修行致しました。

前日十三日に行われた「當山五十七世 守徳大謙大和尚 称名忌遠夜献湯諷經」は、末寺である岩手県花林院住職 千枝宗雄老師、引き続き行われた「當山開祖 無底良韶禪師遠夜献湯諷經」では、同じく末寺の岩手県長壽寺住職 秋元春由老師にそれぞれ焼香師をお勤め頂き、随伴の寺族様や総代様と共に報恩の香をお焚き頂きました。翌朝、朝課罷に内動にて行われた「御開山・先住忌献粥諷經」は正法寺専門僧堂監事 木村法道老師が導師を勤めました。

十四日は朝九時三十分には大本山總持寺監院 乙川暎元老師が法堂正面に御到着され、五疊三拜にてお迎え致しました。十時三十分より監院老師に焼香師をお勤め頂き「當山五十七世 守徳大謙大和尚 称名忌正當献飯諷經」が修行されました。法要では、當山の安居者会である朋友会会員寺院様にも参列頂き、報恩供養の御焼香を頂きました。

「御開山正當献飯諷經」は山主老師が導師を勤め、二日間の行持を無事に厳修致しました。

山主動静報告

【法要関係】

4月21日 末寺 岩手県 龍澤寺 本葬儀 秉炬佛事師 於 岩手県 龍澤寺
5月9日 愛媛県 瑞應寺専門僧堂 退董式・晋山式 大本山總持寺専使 於 愛媛県 瑞應寺

【講演会関係】

6月6日 臨済宗妙心寺派 花園会 檀信徒研修会 於 福島県 ラポール平
6月26・27日 曹洞宗 新潟県第1宗務所主催 仏教講話 於 新潟県 ホテルニューオータニ長岡

新任役寮上山



正法寺専門僧堂 副悦 兼 受付奏者
伊藤 裕磨 (岩手県 第120番 菅生院副住職)

令和元年5月14日、岩手県菅生院副住職 伊藤裕磨師(29歳)が副悦兼受付奏者として上山致しました。伊藤師は平成24年に大本山總持寺へ安居。送行後は法要等の度に正法寺へ随喜し、前制中までは書記も務めて頂きました。

新到宜しゅう!!

2019年
正法寺専門僧堂 夏安居 上山者紹介



坂本 晃喜
(岩手県 第25番 宝積寺同籍)
勝縁に感謝し、精一杯にお勤めさせていただきます。



小池 康宏
(埼玉県 第58番 真淨寺徒弟)
3自の精神「自発・自治・自覚」を保ち、何事も積極的に臨みます。



花田 滉基
(青森県 第7番 海蔵寺徒弟)
内実ともに壮健で、穏やかな僧侶を目指します。

令和元年

夏制中 首座法戦式

『從容録』第五則「青原米価」

4月17日より首座 築地龍成(青森県114番 瑞泉寺徒弟)、書記 松木佑道(宮城県373番 東昌寺徒弟)、辦事 佐々木正圓(秋田県183番 西法寺徒弟)を中心に、夏制中期間に入りました。

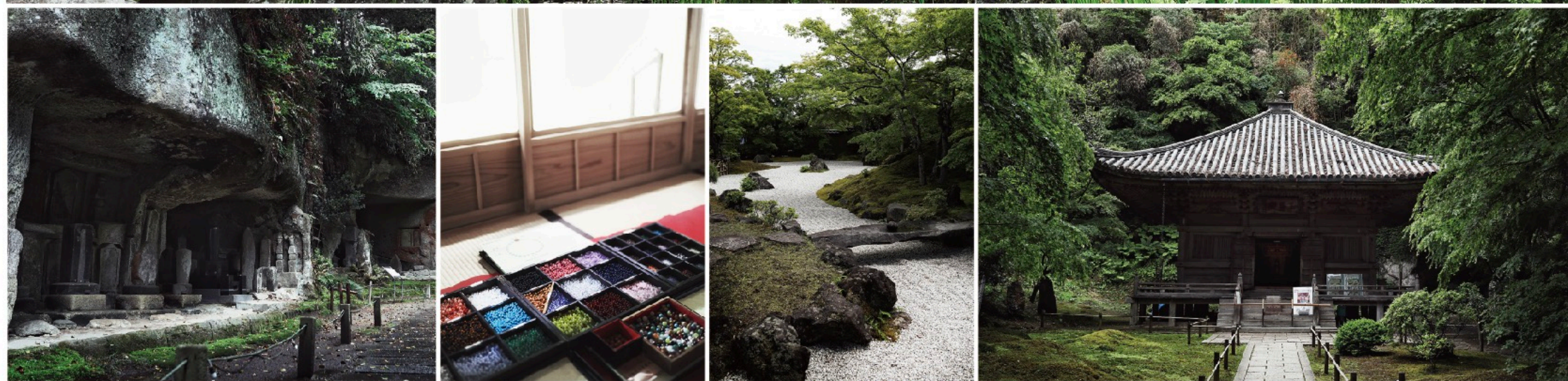
5月27日、本則行茶が修行され、山主老師より『從容録』第五則「青原米価」について提唱を頂きました。翌日28日には首座法戦式が修行され、本師、當山直末、岩手県宗務所第六教区、随伴の寺院の御随喜。瑞泉寺・正法寺の檀信徒に参列頂き、満堂の中で十人の問者と氣迫溢れる問答を交わし、見事説破致しました。法戦式が終わっても制中期間は継続致しますので、首座を中心に山内一同精進させて頂く所存で御座います。



茅葺 探訪

Vol.02

臨濟宗妙心寺派
円通院 大悲亭（本堂）



【白華峰 円通院】

日本三景で名高い宮城県松島町。静寂な雰囲気漂う臨濟宗妙心寺派円通院は、伊達政宗公（五六七〜六三六年）の嫡孫（光宗公（二六二七〜二六四五年）の靈廟）として、正保四年（二六四七年）臨濟宗妙心寺派瑞巖寺第百世洞水東初（大和尚）によって三慧殿が建立され開山されました。境内は、石庭「雲外天地の庭」、遠州の庭バラの庭「白華峰西洋の庭」、三慧殿禅林瞑想の庭等、四季によって表情を変える美しい庭園が観光客や参拝者の目を惹きつけてくれます。秋、紅葉の時期になるとライトアップが行われ、境内は華やかで幻想的な

雰囲気包まれます。

円通院では本堂脇の建物でオリジナルの数珠作り体験を行っております。特に若い女性観光客に人気があり、週末には沢山の方々が庭園を眺めながらの数珠作りを楽しんでいるそうです。

※三慧殿は本堂の更に奥にある光宗公の靈廟で国の重要文化財に指定されております。伊達家屈指の建築物で厨子には支倉常長（五七〜六三二年）が西洋から持ち帰ったと伝わるバラの絵等が描かれております。

【円通院 大悲亭】

円通院は山門も茅葺屋根。豪壮質朴な切妻造り茅葺の二間の戸の薬医門は、開山と同時に建てられたと考えられているそうです。昭和四十五年、松島町有形文化財に指定されました。

山門をくぐり抜け、手入れの行き届いた庭園の中を歩いていくと茅葺屋根の本堂が見えてきます。昭和四十七年に松島町有形文化財に指定された円通院の本堂は「大悲亭」と名付けられています。元は伊達光宗公が江戸の納涼の亭として使用していた建物だそうです。十九歳という若さでの早世を悼んだ父、仙臺藩第二代藩主伊達忠宗

1. 円通院の本堂「大悲亭」。2. 伊達光宗公の靈廟「三慧殿」。3. 石庭「雲外天地の庭」。4. 本堂脇の建物で行われている数珠作り。5. 約700年前の洞窟群。6. 大悲亭内部は2部屋。向かって右側の部屋に御本尊がお祀りされている。7. 御本尊聖観世音菩薩坐像。8. 円通院の山門。



臨濟宗妙心寺派 円通院

〒981-0213 宮城県松島町松島字町内67

拝観時間 / ●4月〜10月下旬 8:30〜17:00 ●10月下旬〜11月 8:30〜16:30 ●12月〜3月 9:00〜16:00

数珠作り体験 / ●4月〜10月下旬 9:00〜16:00 ●10月下旬〜11月 9:00〜15:30 ●12月〜3月 9:00〜15:00

松島 円通院

